

2015年2月19日 全7頁

Indicators Update

1月貿易統計

輸出数量の大幅増と輸入価格の低下で貿易赤字は大幅縮小

エコノミック・インテリジェンス・チーム
エコノミスト 橋本 政彦

[要約]

- 2015年1月の貿易統計では、輸出金額は前年比+17.0%と5ヶ月連続の増加となった。円安による押し上げを主因に輸出価格が同+5.2%と上昇したことに加えて、輸出数量が同+11.2%と急増したことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額も前月比+1.8%と8ヶ月連続で増加しており、増加傾向が続いている。輸出金額は市場コンセンサス（前年比+13.5%）から大きく上振れしたが、これは輸出数量が想定以上に大幅に増加したためであり、内容的にも非常にポジティブ。
- 一方、輸入金額は、前年比▲9.0%と2ヶ月ぶりの前年割れとなった。輸入数量が同▲6.3%と減少したことに加えて、原油価格下落により輸入価格が同▲2.9%と2012年10月以来の前年割れとなったことが輸入金額を押し下げた。
- 貿易収支は、▲1兆1,775億円と31ヶ月連続の赤字となったものの、輸出の大幅増と原油価格下落による輸入の減少により、赤字幅は前年同月の半分以下の水準まで急減した。季節調整値で見た貿易収支も▲4,061億円と、4ヶ月連続で赤字幅が縮小した。

貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2014年									2015年
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
輸出金額	▲2.7	▲1.9	3.9	▲1.3	6.9	9.6	4.9	12.8	17.0	
コンセンサス									13.5	
DIR予想									9.6	
輸入金額	▲3.5	8.5	2.4	▲1.4	6.3	3.1	▲1.6	1.9	▲9.0	
輸出数量	▲3.4	▲1.6	1.0	▲2.9	2.8	4.8	▲1.7	3.9	11.2	
価格	0.7	▲0.3	2.9	1.6	4.0	4.6	6.7	8.6	5.2	
輸入数量	▲4.0	7.2	▲0.3	▲4.5	3.0	▲1.7	▲7.0	▲1.8	▲6.3	
価格	0.5	1.2	2.7	3.3	3.2	4.9	5.8	3.8	▲2.9	
貿易収支	▲9,108	▲8,285	▲9,649	▲9,527	▲9,641	▲7,407	▲8,952	▲6,652	▲11,775	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

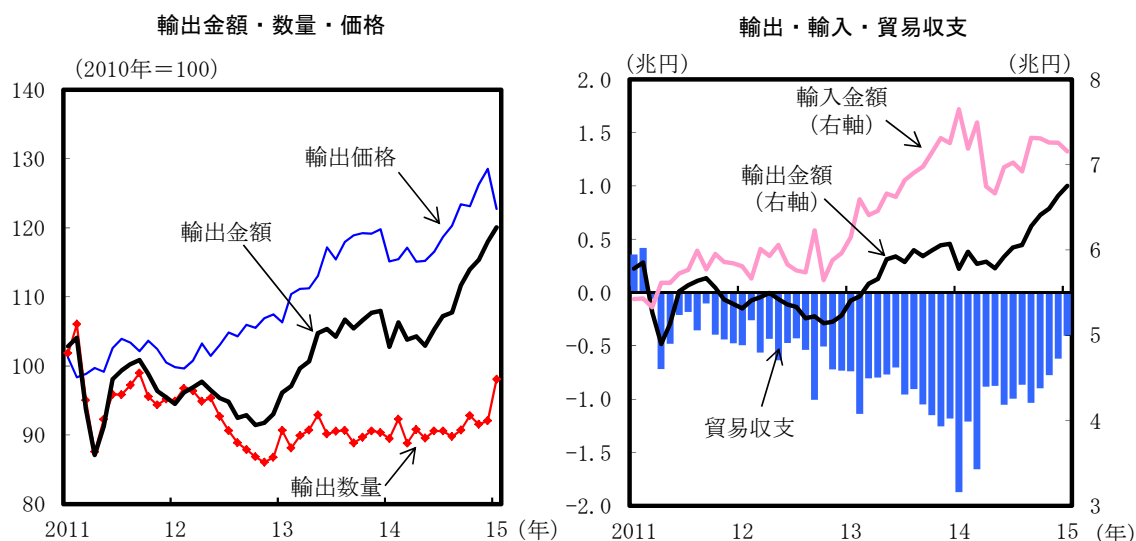
輸出金額は5ヶ月連続の前年比増加、コンセンサスから大きく上振れ

2015年1月の貿易統計では、輸出金額は前年比+17.0%と5ヶ月連続の増加となった。円安による押し上げを主因に輸出価格が同+5.2%と上昇したことに加えて、輸出数量が同+11.2%と急増したことが輸出金額を押し上げた。季節調整値で見た輸出金額も前月比+1.8%と8ヶ月連続で増加しており、増加傾向が続いている。輸出金額は市場コンセンサス（前年比+13.5%）から大きく上振れしたが、これは輸出数量が想定以上に大幅に増加したためであり、内容的にも非常にポジティブ。

一方、輸入金額は、前年比▲9.0%と2ヶ月ぶりの前年割れとなった。輸入数量が同▲6.3%と減少したことに加えて、原油価格下落により輸入価格が同▲2.9%と2012年10月以来の前年割れとなったことが輸入金額を押し下げた。輸入数量については、4ヶ月連続の前年割れと低迷が続いているが、前月比ベース（大和総研による季節調整値）では+4.3%と4ヶ月ぶりの増加に転じており、国内需要が持ち直す中、持ち直しの兆しが見られている。

貿易収支は、▲1兆1,775億円と31ヶ月連続の赤字となったものの、輸出の大幅増と原油価格下落による輸入の減少により、赤字幅は前年同月の半分以下の水準まで急減した。季節調整値で見た貿易収支も▲4,061億円と、4ヶ月連続で赤字幅が縮小した。

輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸出価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

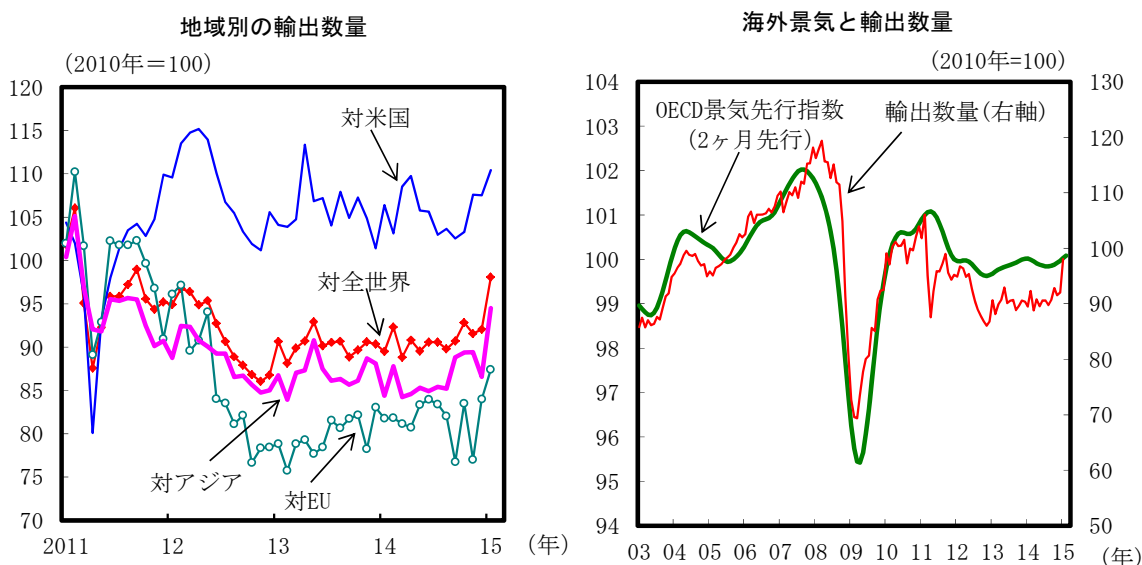
輸出数量は前月比大幅増、増勢加速を期待させる結果

輸出数量指数は季節調整値で見ても（季節調整は大和総研による）前月比+6.5%と大幅な増加となった。前月比増加は2ヶ月連続であり、3ヶ月移動平均値も6ヶ月連続の増加と、輸出は数量ベースで見ても増加基調となっている。地域別の動向を見ると、米国向けが同+2.7%、EU向けが同+4.1%、アジア向けが同+9.2%といずれの地域向けも増加しており、特にアジア向

けの大幅な増加が全体を牽引した。単月の結果のみで判断するのは早計だが、これまで非常に緩やかな増加ペースとなってきた輸出数量の加速を期待させる結果であったと言える。ただし、アジア向けの急増については、中華圏における春節が影響している可能性があり、2月に急減する可能性にも留意しておく必要がある。

輸出数量の動向を地域別・品目別に見ると、米国向けについては、このところ増加が続いていた鉄鋼が減少に転じたことや、自動車の減少が下押し要因となる一方で、電気機器の増加が全体を押し上げた。EU 向けでは、前月に引き続き輸送用機器が増加した模様。アジア向けに関しては、電子部品が好調だったことに加えて、中国、ASEAN 向けの一般機械、NIES 向けの輸送用機器の増加が押し上げに寄与したとみられる。

地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

貿易赤字は2月には一層縮小の見込み

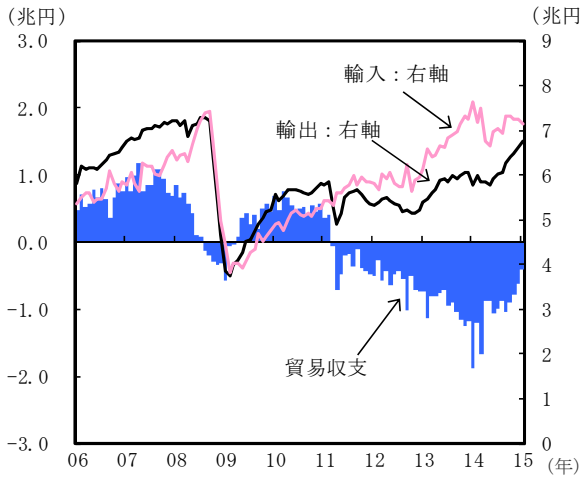
輸出の先行きに関しては、海外経済の回復に伴って、数量ベースでの増加基調が続くとみている。輸出相手先別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費が牽引役となり景気拡大が続いている。米国向け輸出の主力製品である自動車については、国内メーカーの現地生産化の進展によって伸び悩みが続くとみられるものの、このところ増勢を強めている資本財輸出を中心に増加基調が続くものと考えられる。欧州や中国の景気減速は懸念材料であるものの、欧州経済については ECB による追加金融緩和による効果などから、徐々に持ち直しに向かうと予想している。また、米国依存度が高い中国以外のアジア新興国経済に関しても、米国の景気拡大に牽引されて景気回復ペースが加速すると予想しており、欧州、アジア向け輸出も増加が続く見通しである。

貿易収支の先行きについては、海外経済の回復を背景に輸出数量が増加基調となることで、

赤字幅の縮小が続くと予想している。また、短期的には原油価格の下落が貿易赤字の縮小に大きく寄与する見込みである。今回の貿易統計における原油輸入単価は 63.8 ドル/bbl と、50 ドル/bbl 程度で推移していた国際原油市況に比べるとまだ高い水準となっている。足下で国際原油市況は反転の兆しがみられているものの、貿易統計における原油輸入単価は国際原油市況に 1 ヶ月程度遅れて動くことから、2 月の原油輸入金額は一層減少するとみられ、貿易赤字縮小に寄与する公算が大きい。ただし、原油価格の反転に加えて、内需の拡大に合わせて輸入数量も増加基調になる見込みであることから、3 月以降は貿易赤字縮小ペースが減速するとみられる。貿易収支は赤字での推移が続くとみているが、赤字幅はゼロ近傍まで縮小すると予想され、原油価格や為替の動向によっては貿易収支の黒字化が前倒しされることとなるだろう。

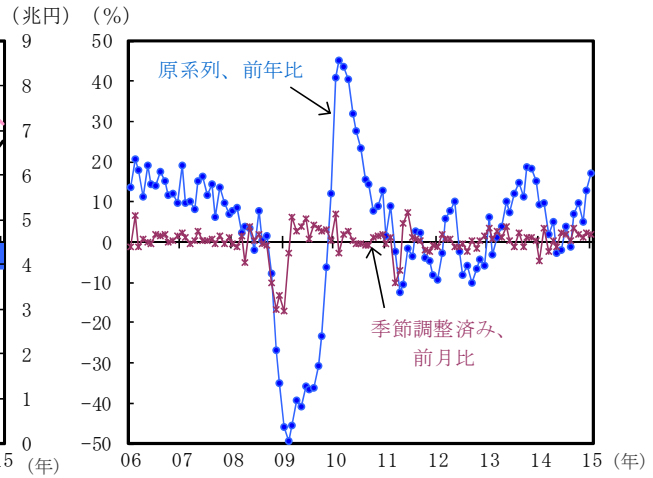
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

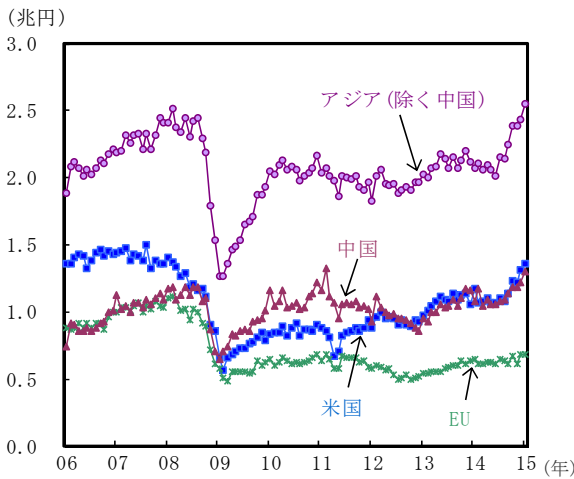


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

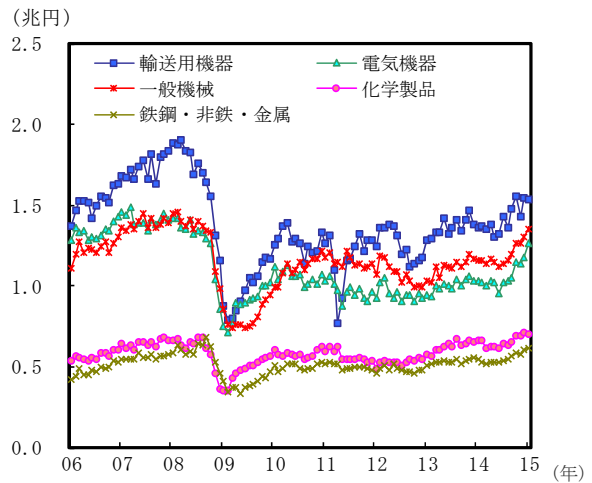


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

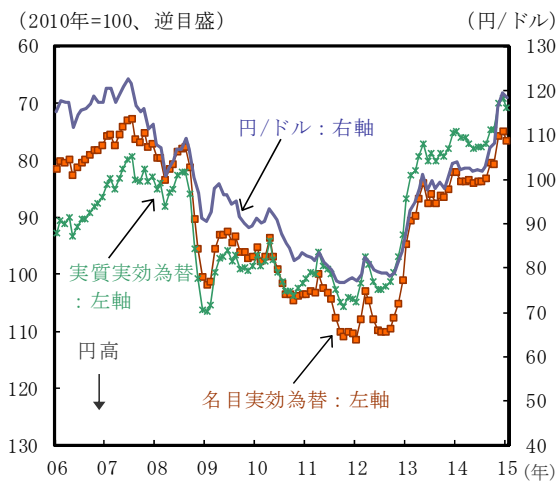


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

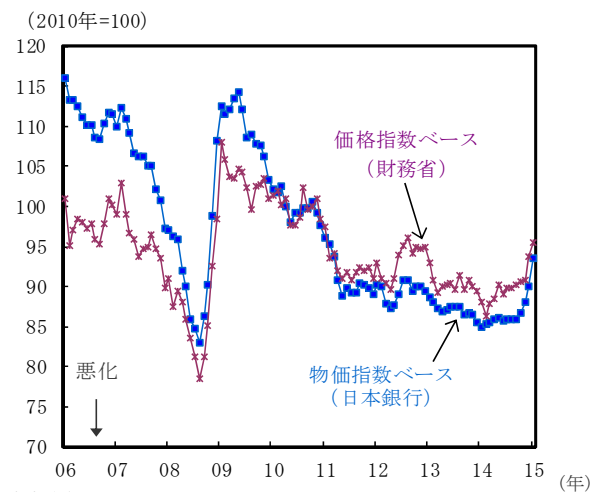


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲1.3	6.9	9.6	4.9	12.8	17.0	100.0	17.0
食料品	8.2	5.1	20.2	12.2	10.7	52.3	0.8	0.3
原料品	2.6	3.6	1.8	2.5	9.8	10.2	1.5	0.2
鉱物性燃料	▲16.3	▲13.9	▲8.8	▲1.4	12.3	0.1	2.0	0.0
化学製品	▲5.4	3.7	8.8	3.6	7.9	7.5	11.0	0.9
原料別製品	▲0.5	7.9	9.0	4.5	9.5	12.9	12.6	1.7
鉄鋼	▲1.7	14.0	11.8	4.9	11.7	10.0	5.5	0.6
非鉄金属	6.3	8.2	8.3	12.9	6.5	16.9	2.0	0.3
金属製品	▲1.5	▲0.6	5.2	▲1.8	7.7	18.5	1.5	0.3
一般機械	1.1	6.5	9.8	6.2	11.4	16.8	18.7	3.2
電気機器	▲0.8	4.3	10.8	7.4	13.9	23.1	17.2	3.8
半導体等電子部品	0.9	8.0	8.7	14.7	17.8	24.1	5.2	1.2
I C	0.6	7.8	8.6	15.0	21.1	23.3	3.5	0.8
映像記録・再生機器	▲25.9	▲22.0	▲14.0	▲13.3	▲17.9	31.6	0.6	0.2
音響・映像機器の部分品	▲20.3	▲23.0	▲18.2	▲18.0	▲8.9	13.4	0.4	0.1
電気回路等の機器	2.9	8.5	14.4	5.5	12.2	21.7	2.5	0.5
輸送用機器	▲3.2	9.1	10.6	▲2.9	10.9	13.1	23.4	3.2
自動車	▲2.9	7.0	6.2	▲0.7	12.5	12.7	14.3	1.9
自動車の部分品	▲7.2	1.5	3.0	▲3.3	5.7	6.3	4.4	0.3
その他	2.2	14.6	11.0	18.1	26.7	34.0	12.9	3.8
科学光学機器	4.1	11.5	12.4	12.6	14.5	22.2	3.3	0.7

米国向け輸出金額 内訳								
	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.4	4.4	8.9	6.8	23.7	16.5	100.0	16.5
食料品	13.6	▲9.3	19.4	14.6	28.2	22.9	0.5	0.1
原料品	17.0	19.7	▲39.9	74.3	60.7	16.3	0.5	0.1
鉱物性燃料	46.3	▲21.9	22.2	522.3	4.7	1807.2	0.6	0.7
化学製品	▲9.9	1.6	5.9	14.8	36.0	9.5	5.9	0.6
原料別製品	6.1	18.5	22.6	20.8	40.5	19.7	7.3	1.4
鉄鋼	3.1	32.2	8.8	41.9	67.7	28.4	2.3	0.6
非鉄金属	34.1	35.2	64.7	30.0	33.9	23.0	0.5	0.1
金属製品	▲2.3	2.8	15.1	6.2	24.2	6.6	1.5	0.1
一般機械	0.2	15.6	18.4	14.0	23.4	20.5	23.2	4.6
電気機器	▲2.3	▲0.7	14.5	10.3	18.4	18.4	14.9	2.7
半導体等電子部品	▲1.6	3.4	10.1	22.0	32.2	31.4	2.1	0.6
I C	▲8.4	▲3.3	8.1	12.3	30.4	15.5	1.1	0.2
映像記録・再生機器	▲15.9	▲13.1	▲21.5	▲22.9	▲24.0	31.4	0.9	0.2
音響・映像機器の部分品	91.4	▲34.9	27.2	▲4.7	▲11.7	10.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	▲3.2	4.9	18.6	16.7	18.9	14.5	1.6	0.2
輸送用機器	▲8.7	0.0	4.8	▲6.6	23.0	11.8	37.4	4.6
自動車	▲13.5	▲5.2	▲3.3	▲10.4	21.3	13.8	26.7	3.8
自動車の部分品	▲4.1	5.8	19.0	▲1.0	22.5	11.5	6.2	0.7
その他	▲9.0	0.8	▲4.0	25.3	14.7	18.4	9.8	1.8
科学光学機器	2.9	2.3	4.4	18.0	22.0	15.8	1.9	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	5.6	0.6	5.4	▲1.3	6.8	7.4	100.0	7.4
食料品	▲3.2	6.6	34.2	32.1	21.8	▲9.2	0.2	▲0.0
原料品	▲5.6	▲27.5	▲27.1	▲22.4	▲6.0	▲28.6	1.0	▲0.4
鉱物性燃料	▲64.5	▲93.5	▲90.5	▲1.2	9.3	▲44.5	0.1	▲0.1
化学製品	10.4	4.5	9.8	▲3.1	6.6	3.5	8.8	0.3
原料別製品	8.7	6.7	12.2	▲4.6	4.5	6.4	6.9	0.4
鉄鋼	20.0	30.9	4.0	11.2	8.3	21.1	1.1	0.2
非鉄金属	39.6	32.0	42.1	7.3	20.1	79.8	1.1	0.5
金属製品	4.3	6.2	12.0	▲18.6	▲3.5	▲6.2	1.3	▲0.1
一般機械	11.7	3.4	8.5	▲0.1	6.2	▲1.5	24.8	▲0.4
電気機器	▲2.9	1.9	7.7	▲4.5	2.7	4.3	18.0	0.8
半導体等電子部品	7.4	8.3	21.3	20.3	4.0	▲2.5	2.4	▲0.1
I C	5.3	▲5.0	11.4	19.8	0.4	▲15.4	1.4	▲0.3
映像記録・再生機器	▲51.5	▲27.1	▲16.8	▲39.1	▲28.0	▲8.4	0.9	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲20.4	▲26.8	▲47.9	▲13.1	▲17.8	12.5	0.6	0.1
電気回路等の機器	11.9	1.3	12.9	▲2.4	8.5	8.1	1.8	0.1
輸送用機器	11.4	3.0	5.6	4.3	5.9	21.7	26.4	5.1
自動車	33.8	8.3	11.8	3.1	15.1	16.2	14.9	2.2
自動車の部分品	▲29.4	▲13.3	▲7.9	▲4.0	▲2.6	13.8	4.9	0.6
その他	4.4	7.8	7.4	▲3.0	16.6	13.4	13.8	1.7
科学光学機器	1.3	7.0	10.7	9.1	5.5	20.5	3.4	0.6

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.6	8.1	10.5	5.8	10.9	22.7	100.0	22.7
食料品	12.3	5.8	17.0	9.5	6.6	67.0	1.1	0.5
原料品	1.6	5.6	9.2	▲0.4	7.0	14.5	2.2	0.3
鉱物性燃料	▲14.0	6.6	11.0	▲6.8	23.4	▲12.3	2.5	▲0.4
化学製品	▲5.2	5.8	7.3	3.9	4.6	6.5	15.0	1.1
原料別製品	▲0.7	7.2	6.7	4.1	7.2	13.9	15.7	2.4
鉄鋼	▲2.7	7.7	9.0	2.4	10.3	6.8	7.2	0.6
非鉄金属	5.8	13.3	10.1	15.6	6.6	20.6	3.3	0.7
金属製品	0.2	2.0	0.0	▲3.0	4.5	25.5	1.7	0.4
一般機械	▲2.1	2.5	5.1	3.0	6.3	24.7	17.4	4.2
電気機器	0.1	7.4	11.2	9.2	15.6	31.2	21.3	6.2
半導体等電子部品	1.8	9.9	9.2	14.8	18.7	27.0	8.3	2.2
I C	1.1	9.3	8.6	15.1	21.7	26.9	5.9	1.5
映像記録・再生機器	▲13.5	▲22.0	▲5.0	8.0	▲8.8	52.9	0.6	0.3
音響・映像機器の部分品	▲21.7	▲15.4	▲14.4	▲14.9	0.2	31.2	0.6	0.2
電気回路等の機器	2.0	9.0	11.3	3.2	11.3	24.7	3.4	0.8
輸送用機器	▲1.8	8.9	18.3	▲6.4	▲3.3	26.4	8.7	2.2
自動車	5.4	10.2	13.6	6.9	2.5	28.7	3.7	1.0
自動車の部分品	▲8.0	▲1.5	▲3.0	▲9.2	▲5.8	4.9	3.2	0.2
その他	7.7	20.3	18.6	20.3	30.1	44.3	16.1	6.1
科学光学機器	4.4	14.1	15.5	11.8	13.4	24.3	4.4	1.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2014/08	2014/09	2014/10	2014/11	2014/12	2015/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.2	8.7	7.2	0.9	4.2	20.8	100.0	20.8
食料品	28.0	24.3	39.1	23.3	▲1.2	79.8	0.3	0.2
原料品	▲3.3	0.6	0.2	▲7.5	5.2	27.3	3.3	0.9
鉱物性燃料	▲19.4	99.2	▲49.5	▲20.5	123.5	▲54.7	0.5	▲0.8
化学製品	▲12.4	▲1.9	0.6	▲1.6	3.7	6.3	17.5	1.3
原料別製品	5.4	7.7	4.0	▲4.0	2.0	23.5	13.1	3.0
鉄鋼	3.9	▲0.7	2.4	▲15.7	1.5	▲1.7	4.2	▲0.1
非鉄金属	36.7	37.3	29.0	29.3	16.5	60.9	3.4	1.6
金属製品	1.7	12.0	▲7.7	▲4.4	▲9.3	30.0	1.7	0.5
一般機械	▲4.0	0.9	6.5	▲6.7	▲2.2	26.8	18.4	4.7
電気機器	1.9	8.8	15.6	10.3	14.3	31.9	23.6	6.9
半導体等電子部品	1.8	12.9	7.5	17.0	20.8	11.0	7.7	0.9
I C	4.8	15.4	12.2	23.2	37.2	17.5	5.7	1.0
映像記録・再生機器	▲12.4	▲44.2	▲14.1	10.9	▲7.7	140.8	0.9	0.6
音響・映像機器の部分品	▲10.1	3.9	▲11.9	▲7.2	▲3.5	33.2	0.8	0.3
電気回路等の機器	6.0	12.0	19.7	4.7	14.6	35.1	4.1	1.3
輸送用機器	6.5	5.1	7.0	▲7.8	▲23.1	0.7	7.9	0.1
自動車	17.7	5.8	14.3	▲0.7	▲29.5	▲2.8	3.2	▲0.1
自動車の部分品	▲2.8	2.8	▲0.1	▲16.7	▲20.1	0.8	4.4	0.0
その他	8.7	28.8	14.5	16.2	20.3	33.4	15.3	4.6
科学光学機器	4.6	16.4	15.1	20.8	20.5	31.5	7.6	2.2

(出所) 財務省統計より大和総研作成